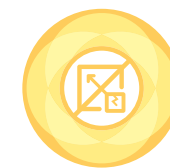


2015

LEADING SAFETY
世界一安全・安心な都市

東京

先進的防災技術実用化支援事業

LEADING SAFETY 東京
世界一安全・安心な都市

成果事例集

第1期

平成26年10月1日～平成27年9月30日



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

東京都千代田区神田佐久間町1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎

TEL 03-3251-7895

URL <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

はじめに

東京は、首都直下地震、台風、集中豪雨などの自然災害の脅威にさらされております。様々な自然災害に対し、行政による防災対策の充実に加え、都民の自助・共助の取組などにより、災害対応力を向上させていくことが求められます。特に、新しい知恵や技術を活用し、万全の備えをしていくことは、高度な防災都市の実現に向け、欠かすことのできない取組となっております。

こうした状況において、都内に集積するものづくり中小企業の力を積極的に活用することが必要です。しかし、都内中小企業においては、優れた技術や製品を保有しているものの、実証試験が大掛かりなものになることや実用化に要するコスト負担が大きいなどの要因により、迅速な実用化、普及促進にまで至るのが困難な状況にあります。

そこで、公益財団法人東京都中小企業振興公社では、先進的防災技術の普及による都市防災力の向上と産業の活性化を図るため、都内中小企業等が、自社で開発した都市の防災力を高める優れた技術・製品の实用化、販路開拓に係る経費の一部を助成する「先進的防災技術実用化支援事業」を平成26年度より開始しました。

このたび、本助成事業の支援を受け実用化に成功した技術・製品をご紹介することで、都内中小企業者等の取組を積極的にPRしていくとともに、市場への更なる普及促進を支援してまいります。

平成27年10月
公益財団法人東京都中小企業振興公社



先進的防災技術実用化支援事業とは？

事業の目的

都内中小企業者等に対して、自社で開発・製造した都市の防災力を高める優れた技術・製品の实用化及び販路開拓に係る経費の一部を助成することにより、先進的防災技術の普及による都市防災力の向上と産業の活性化を図ることを目的として、平成26年度から先進的防災技術実用化支援事業を開始しました。このたび、本助成事業の支援を受け実用化に成功した技術・製品をご紹介することで、都内中小企業者等の取組を積極的にPRしていくとともに、市場への更なる普及促進を支援してまいります。



～2つのフェーズで実用化から普及促進までを一貫支援～

対象者

都内で引き続き1年以上事業を営んでいることが条件となります。

- ア) 中小企業者（会社及び個人事業者）
- イ) 中小企業団体等
- ウ) 複数の企業等で構成される中小企業グループ



対象事業

以下の実用化テーマに沿った技術・製品、試作品の実用化が助成対象事業となります。

- A) 災害の未然防止や、事前措置により被害、影響の回避、最小化に資する技術・製品
- B) 発災時に被害の拡大防止に資する技術・製品
- C) 救助・復旧・復興に資する技術・製品
- D) 避難の円滑化や、避難場所・生活の確保に資する技術・製品

▼〈申請受付・審査・交付決定〉

（1）実用化に要する改良経費助成

実用化テーマに沿った技術・製品・試作品の改良や実証試験などに要する経費の一部を助成

助成対象期間	開始年の10月1日から1年9ヶ月以内
助成限度額	1,000万円
助成率	助成対象と認められる経費の2/3

助成対象経費
原材料・副資材費、機械装置・工具器具費、委託・外注費、産業財産権出願・導入費、直接人件費（ソフトウェア開発のみ）

〈先導的ユーザーとは〉官公庁、民間企業、地域防災拠点となる商店会及び個人等で、防災関連技術・製品の初期採用者でもあり、そこへの導入実績が技術・製品の信頼性や実用性等に対する対外的な評価を高めることに繋がり、その後の普及促進にとって大きな契機となることが想定されるユーザー又は助成対象企業がコアとなるターゲットであり、先行導入が見込まれる顧客のことをいいます。

（2）先導的ユーザーへの導入費用助成

改良が完了した技術・製品について、先導的ユーザーへの導入に要する経費の一部を助成

助成対象期間	改良・実用化フェーズが終了してから1年以内
助成限度額	200万円
助成率	助成対象と認められる経費の1/2以下

助成対象経費
先導的ユーザーへの導入に係る原材料・副資材費、委託・外注費

（3）展示会出展・広告費助成

改良が完了した技術・製品について、展示会出展や広告に要する経費の一部を助成

助成対象期間	改良・実用化フェーズが終了してから1年以内
助成限度額	150万円
助成率	助成対象と認められる経費の全額

助成対象経費
PR映像の製作に要する経費、新聞・雑誌・Webへの広告に要する経費

▼〈実用化された技術・製品の普及〉

都市防災力の向上

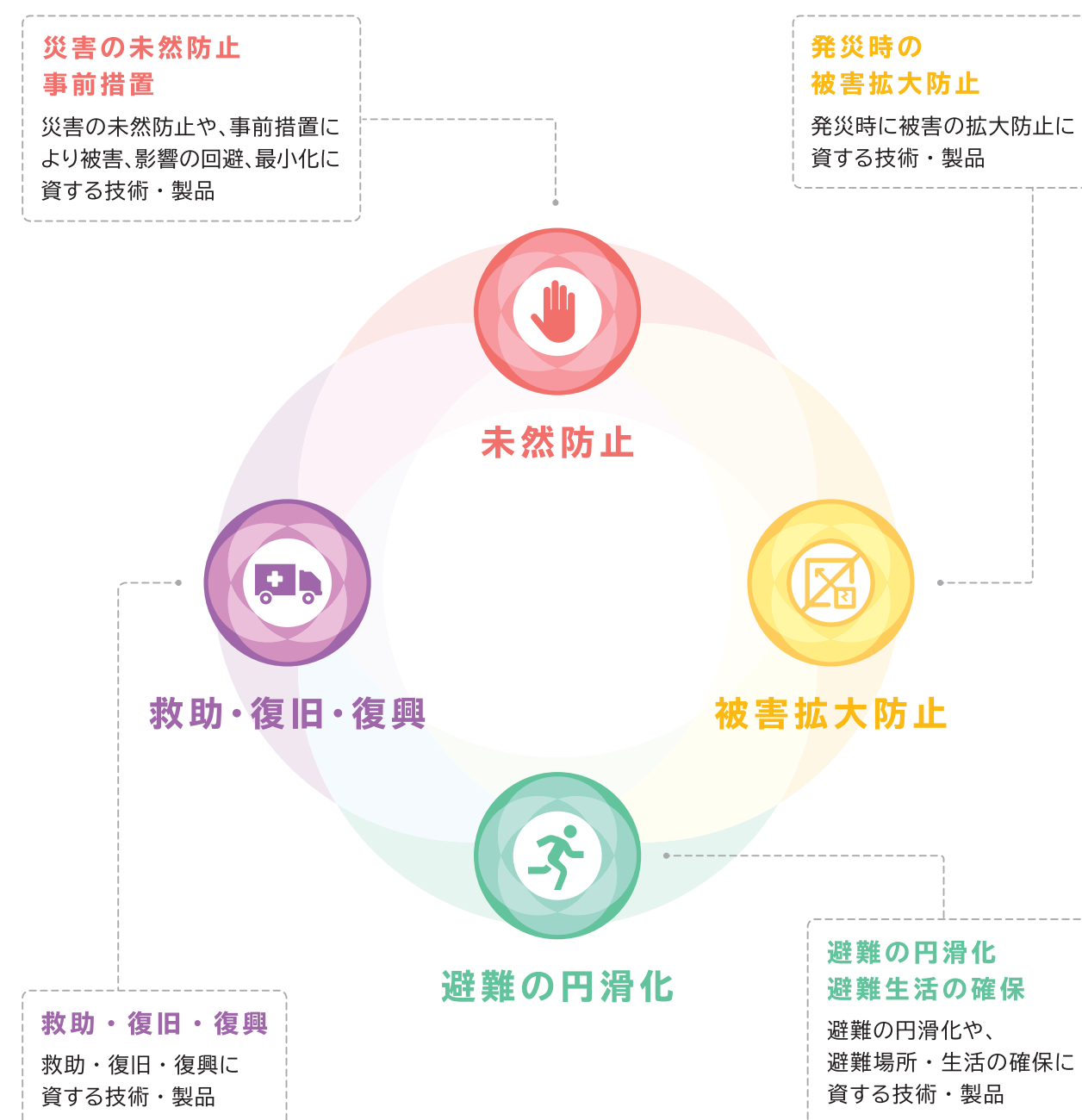
中小企業の事業機会拡大



LEADING SAFETY
世界一安全・安心な都市

東京

先進的防災技術実用化支援事業として、「未然防止」「被害拡大防止」「避難の円滑化」「救助・復旧・復興」の4つのテーマに沿った技術、製品、試作品の実用化を支援することで、都市防災力の向上と中小企業の事業機会拡大をめざしています。



目次 INDEX

 未然防止	雨水地下貯留槽形成のための貯留材「アクアパレス」…………… P5 株式会社トーテツ
 未然防止	緊急地震速報装置「EQ ガードⅡ」…………… P6 株式会社チャレンジ
 未然防止	携帯型打音チェッカ「PDC-100」…………… P7 株式会社ポート電子
 被害拡大防止	吸引式ハンドドライヤー「クレナ」…………… P8 株式会社タイズ
 被害拡大防止	地震・火災を防ぐ「感震コンセント」…………… P9 杉本電器株式会社
 被害拡大防止	防災用ヘルメット「Crubo(クルボ)」…………… P10 株式会社谷沢製作所
 被害拡大防止	騒音環境下作業者の安全安心装置「キツツキ・ハンマー」…………… P11 プラムシステム有限会社
 被害拡大防止	防災・救命シェルター「CL-HIKARi」…………… P12 株式会社光レジン工業
 避難の円滑化	緊急地震速報アプリ「ゆれくるコール」…………… P13 アールシーソリューション株式会社
 避難の円滑化	オフィス家具用転倒落下防止装置「アンチガル・グライド」…………… P14 株式会社テー・シー・アイ
 避難の円滑化	災害情報提供システム「サウンドコード」…………… P15 株式会社フィールドシステム
 避難の円滑化	デジタルサイネージ自動販売機「スマートベンダー」…………… P16 株式会社バイシンク